

iCON

i-CREATIV

タッチスクリーンおよびAirLight™ 3Dエフェクター付きUSB MIDIコントローラー



ユーザーズマニュアル



CN16549



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

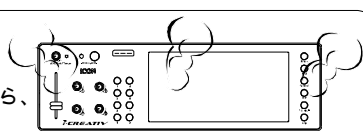
故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのに
お気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口 に修理を依頼する

変な音・
においがしたら、
煙が出たら



警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す
記号



行為を禁止
する記号



行為を指示
する記号

**警告**

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、使用しない

遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにご使用を中止してください。屋外で使用時は、安全な場所へ避難してください。

持ち運びのときに振り回さない

ショルダーベルトやハンドストラップに手を通したまま本体を固定しないで持ち運ぶと、本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりして故障やけがの原因となります。持ち運ぶときは、手でおさえるか、ポケットに入れるなど固定してください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。・熱器具に近づけない。加熱しない。・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口に変換をご依頼ください。

**注意**

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは電源コードやバッテリーをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コード、AVケーブルやUSBケーブルを抜くケーブルは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

はじめに	
付属品をご確認ください.....	1
機能.....	2
フロントパネルのレイアウト.....	3-4
サイドパネルのレイアウト.....	5
ご使用前の準備	
iCreativコントローラーを接続する	5
Mac OS XにiMap™をインストールする.....	6
WindowsにiMap™をインストールする.....	6-7
iMap™上でMIDI機能を指定する.....	8
iMap™ iCreativソフトウェア・ パネル.....	8-9
ピアノ・モード.....	10
パッド・モード.....	10
コントロール・モード.....	11
X/Yパッド・モード.....	11
アルペジオ・モード.....	12
クリップ・モード.....	12
ファームウェアのアップグレード	13
工場出荷時の設定を復元する.....	14
iCreativを別のiシリーズ・コントローラーとデイジーチェーンする (複数の機器を数珠つなぎにする)	14
製品仕様.....	15
修理について.....	16

はじめに

ICON iCreativ USB MIDI DJコントローラーをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、iCreativの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

また、同梱の製品保証書にご記入の上投函していただきますと、www.icon-global.comにてオンラインサポートをご利用いただけるようになります。保証書のご送付後には、本製品のほか、ICON 製品に関する最新情報をお届けします。他の電子製品と同様、本製品につきましても御購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万が一修理のため本製品を弊社に返送していただく必要がある場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

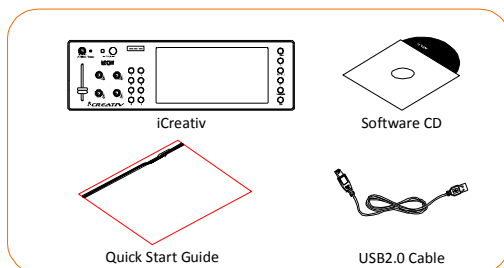
照会用シリアルナンバー：

ご購入店舗名：

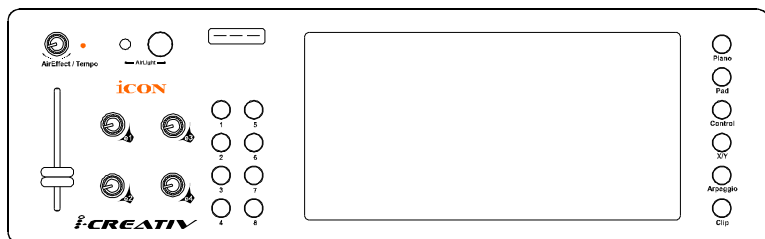
ご購入日：

付属品をご確認ください

- iCreativ USD MIDコントローラー X1個
- クイックスタートガイド X1冊
- ソフトウェアCD X1個
- USB 2.0ケーブル X1本

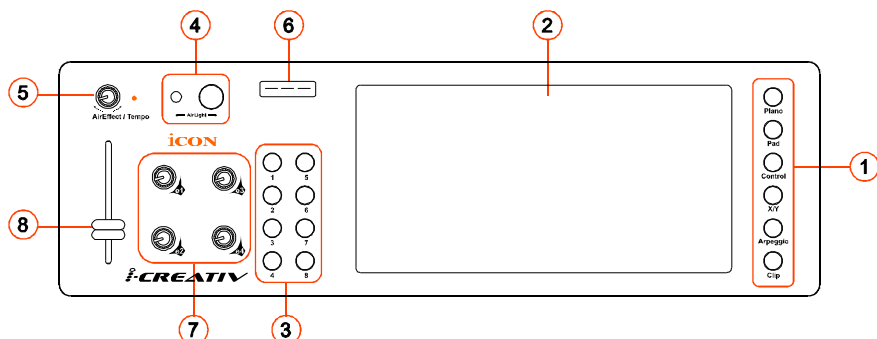


機能



- 高感度大型タッチスクリーン
- タッチスクリーンの下のX軸とY軸に8 x 16個のLEDを埋め込んだレイアウト
- 用途に応じて、次の6種類のモードが選択可能
 1. **ピアノ**：X軸は鍵盤の白鍵として動作し、Y軸は8個のオクターブ・ボタンで表現値（工場設定値はiMapで変更可能）を8ステップに切り替えることができます。
 2. **パッド**：タッチスクリーンは、2レイヤーの8個の照明付きドラム・パッド（計16個のパッド）に分割されます。
 3. **コントロール**：タッチスクリーンは、2レイヤーの8個の垂直スライダー（計16個のフェーダー）に分割されます。
 4. **X/Yパッド**：8レイヤーのX/Yタッチ・パッドとして使用されます。
 5. **クリップ**：2レイヤーの8個の照明付きクリップ・ボタン（計16個のクリップ）として使用されます。
 6. **アルペジオ**：希望のアルペジオ・シーケンス（同梱のiMap™ ソフトウェアでMIDIファイルをインポートする）が記憶できる、8組x 8個のアルペジオ・メモリ・スロット（計64個のメモリ・スロット）
- エンコーダーつまみで各機能が制御できるAirLight™ 3Dエフェクターを内蔵
- 割当可能なエンコーダー4個
- 割当可能なフェーダー1個
- 3桁LEDディスプレイ
- MIDIマッピングを再割当しアルペジオ・メモリ・スロットにMIDIファイルをインポートするiMap™ MIDIマッピング・ソフトウェアを同梱
- USBケーブルでファームウェアをアップグレード
- 超コンパクトでMacBook™とパーフェクト・マッチ
- Windows XP、Vista（32-bit）、Mac OS Xクラス・コンプライアント
- USBバスより電源供給
- USBコネクタを2口搭載。iKeyやiPadを接続可能です。
- 白または黒が選べる
- 色の異なるアルミニウム製カバーも入手可能（オプション）
- オンラインで購入の場合、お好みでレーザー刻印サービスもいたします（オプション）

フロント・パネル・ レイアウト



① モード・セレクト・ボタン

用途に合わせて「ピアノ」、「パッド」、「コントロール」、「X/Y」、「クリップ」、「アルペジオ」の6つのモードを選択します。

② 8x16個のLEDバックライト付きタッチスクリーン

タッチスクリーンは、下記のように、モードごとに異なる機能に切り替えることができます。

ピアノ・モード

タッチスクリーンはX軸とY軸に分割され、それぞれ水平の16個の白鍵と、垂直の8ステップの表現値が割り当てられます。Y軸のMIDIコントロール・メッセージは、同梱のiMap™ソフトウェアで変更することができます（工場設定はCC11: Expressive）。この8個のボタンはオクターブ・シフトに使用されます。ボタン5を押すと元のオクターブに戻ります。

パッド・モード

タッチスクリーンは、2レイヤーの8個の照明付きドラム・パッドに分割されます。各ドラム・パッドのCH/ノートはMap™ソフトウェアで設定できます。

コントロール・モード

タッチスクリーンは、2レイヤーの8個の垂直スライダーに分割されます。各垂直スライダーのCH/CC値はMap™ソフトウェアで設定することができます。

X/Yモード

8個のレイヤー・ボタン・スイッチ付きX/Yタッチ・パッド。各レイヤーのX/Y MIDIメッセージ値 (CH/CC) は、iMap™ ソフトウェアで設定できます。

クリップ・モード

タッチスクリーンは、2レイヤーの8個のクリップ・ボタンに分割されます。各クリップ・ボタンには、iMap™ ソフトウェアで音階の値とチャンネルを割り当てることができます。

アルペジオ・モード

タッチスクリーンが8個のアルペジオ起動トリガー・ボタンに分割され、各ボタンは、ユーザーが作成したアルペジオMIDIファイルを記憶するメモリ・スロットを表しています。同梱のiMap™ソフトウェアで、iCreativに、64個（計8レイヤー）の希望のMIDIファイルをインポートすることができます。

注意：各MIDIファイルのサイズは256バイトを超えてはなりません。これ以上大きなファイルはインポートできないことがあります。

③ コントロール・ボタン

選択したモードに応じて、このボタンで次の機能を起動することができます。

1. ピアノ・モード：オクターブ・シフト。ボタン5を押すと元のオクターブに戻ります。
2. パッド・モード：2個のレイヤーを切り替えます。
3. コントロール・モード：2個のレイヤーを切り替えます。
4. X/Yモード：X/Yパッドの8個のレイヤーを切り替えます。
5. クリップ・モード：クリップ・ボタンの2個のレイヤーを切り替えます。
6. アルペジオ・モード：予め記憶されている8組のアルペジオ・シーケンスを選択します。

④ AirLight™ 3Dエフェクター

AirLight™ の上 (9cm以内) で手をかざすと、エフェクトが作成できます。

iMap™ソフトウェアを使うと、AirLight™ の10個のエフェクト (レイヤー) のCC値が設定できます。

注意：AirLight™ は赤外線デバイスなので、日光やスポットライトが当たると機能に影響が出ます。機能に影響しないように、光を当てないでください。

⑤ AirLight™ エフェクト・セレクターとアルペジオ・テンポつまみ

AirLight™ エフェクト・セレクター

つまみを回すと10個のエフェクター (レイヤー) が切り替わります。

アルペジオ・テンポつまみ

つまみを押し下げると赤ランプが点灯します。つまみを回すと、アルペジオのテンポが40～300の間で調整できます。

(注意：アルペジオ・モードを起動しないとこの操作はできません)

⑥ 3桁LEDディスプレイ

各コントロールに関する情報が表示されます。

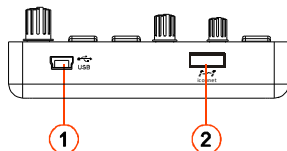
⑦ つまみ

これら4個のつまみはプログラム可能なエンコーダーで、これらを回すとMIDIパラメーターを設定することができます。iMap™ソフトウェアでMIDIメッセージを設定してください。

⑧ フェーダー

フェーダーはプログラム可能で、これをスライドさせると、音量などのリニアMIDIパラメーターを調整したり、iMap™ソフトウェアを使ってMIDIメッセージを変更することができます。

サイドパネルのレイアウト



① USBポート (Bタイプ)

対応ソフトウェアとノートPC（またはデスクトップPC）とのMIDIポートとして機能します。また、iCreativの電源供給も行います。

② USBポート

もう一台のiCreativ その他のiシリーズ・コントローラーを接続するために使用します。

注意：USBポートの電源供給能力に制限があるので、接続デバイス・チェーンの消費電力がUSBポートの電源供給能力を上回って不具合が起きることがあります。異なるiシリーズ・コントローラーのデジタイズ・チェーンの組合せや順序の推奨例については、以下のICONウェブサイト・リンクをご覧ください。www.icon-global.com

ご使用前の準備

iCreativコントローラーを接続する

① USBポートを介してMac/PCにiCreativを接続する

② iCreativにMIDIメッセージをアサインします。

iMap™ソフトウェアによるMIDIメッセージのアサインについては、8 ページを参照してください。

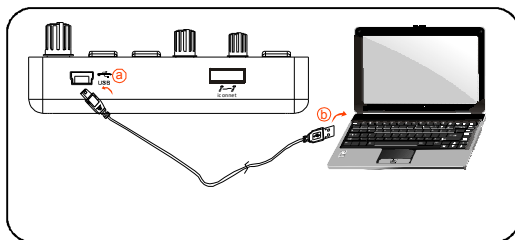


図 1



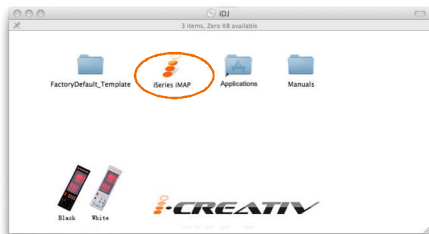
図 2

Mac OS XにiMap™をインストールする

Mac OS Xをご利用の場合は、以下の手順でiMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

- ① CD-ROMドライブにユーティリティCDを挿入し、「iSeries iMap」アイコンをダブルクリックします。

ヒント：「Applications」フォルダに「iSeries iMap」アイコンを「ドラッグ・アンド・ドロップ」すると、お使いのMacのデスクトップに「iMap」ショートカットが作成されます。



WindowsにiMap™をインストールする

Windowsをご利用の場合は、以下の手順でiMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

- ① コンピューターの電源を入れます。
- ② ユーティリティCDを、お手持ちのコンピュータのCD-Romドライブに挿入します。

CDをCD-Romドライブに挿入すると、図1のインストール画面が表示されますので、「インストール」をクリックします。

(注：インストール画面が自動的に表示されない場合は、CDフォルダを開き、「Setup」という名前のアイコンをクリックしてください。)



図 1

- ③ セットアップ・ウィザードが表示されます。

セットアップ・ウィザードが表示されますので、「続行」をクリックしてください。



図 2

- ④ インストール先を選択します。
既定のインストール先のまま、あるいはお好みのインストール先を選択してから「次へ」をクリックします。

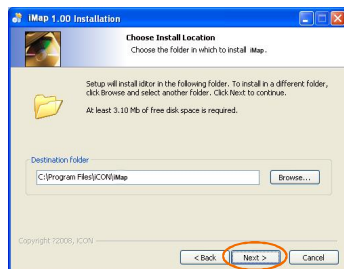


図 3

⑤ ショートカットを選択します。

iMap™のショートカットを作成したいスタートメニュー・フォルダを選択します。「次へ」をクリックして続行します。

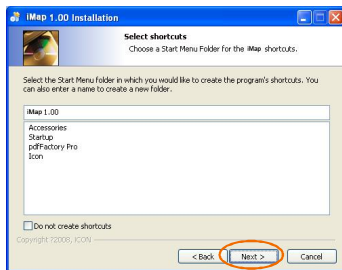


図 4

⑥ デスクトップにショートカット・アイコンを作成します。

iMap™のショートカット・アイコンをデスクトップに作成したくない場合は、チェックボックスのチェックを外してください。それ以外の場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。

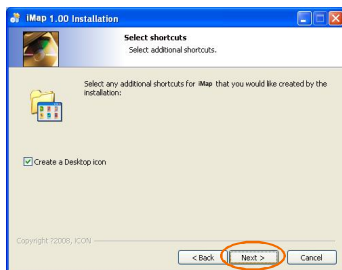


図 5

⑦ iMap™のインストールが開始されます。

これでiMap™のインストールが開始されます。インストールが完了するまでお待ちください。完了したら「次へ」をクリックして続行します。

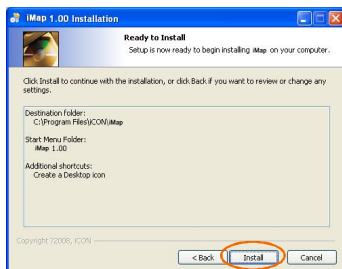


図 6

⑧ インストールを終了します。

「終了」をクリックしてiMap™ソフトウェアのインストールを終了します。

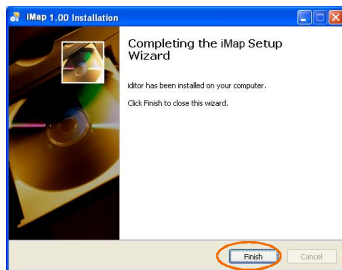
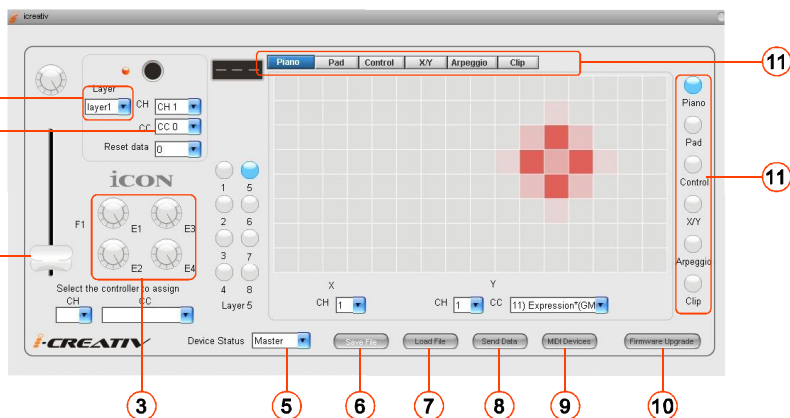


図 7

iMap™上でMIDI機能を指定する

iMap™を利用すると、MIDI機能を容易に iCreativ にアサインすることができます。

iMap™ iCreativソフトウェア・パネル



- ① AirLight™に、MIDIチャンネル、CC番号、リセット値を割り当てる
AirLight™のプルダウン・メニューで希望のMIDIチャンネルとCC番号とリセット値を選択します。
ヒント：リセット値とは、手でAirLight™を起動していないときの設定値です。
- ② 10つの各レイヤーを選択して各レイヤーに好みの設定を選択する
10つのレイヤーを設定して異なるアプリケーションで用いることができます。
各レイヤーでは、個別のコントローラー設定が可能です。
- ③ つまみ (エンコーダー) にMIDIチャンネルとCC番号を割り当てる
4個のつまみのプルダウン・メニューで、希望のMIDIチャンネルとCC番号を選択します。
- ④ フェーダーにMIDIチャンネルとCC番号を割り当てる
フェーダーのプルダウン・メニューで、希望のMIDIチャンネルとCC番号を選択します。

⑤ マスター/スレーブ・セレクトター

本器をスタンドアロン機器として使用する場合には「Master」を選択します。別のICON iシリーズ・コントローラのスレーブ・ユニットとしてカスケード接続する場合には、「Slave」を選択します。

⑥ 「ファイルの保存」ボタン

このボタンをクリックして、現在のiCreativの設定を保存します。保存ファイルの拡張子は「iCreativ」です。

⑦ 「ファイルを開く」ボタン

このボタンをクリックして、保存されたiCreativの「iCreativ」設定ファイルを開きます。

⑧ データの送信」ボタン

このボタンをクリックしてiMap™ ソフトウェアの設定をUSB接続経由でiCreativに送信します。

(ご注意：iCreativがご利用のコンピューターに接続されていなければなりません。接続されていない場合は送信出来ません。)

⑨ 「MIDIデバイス」ボタン

このボタンをクリックすると、図1のデバイス・セレクトター画面が表示されます。MIDI Outデバイスで「ICON iCreativ」を選択してください。



図 1

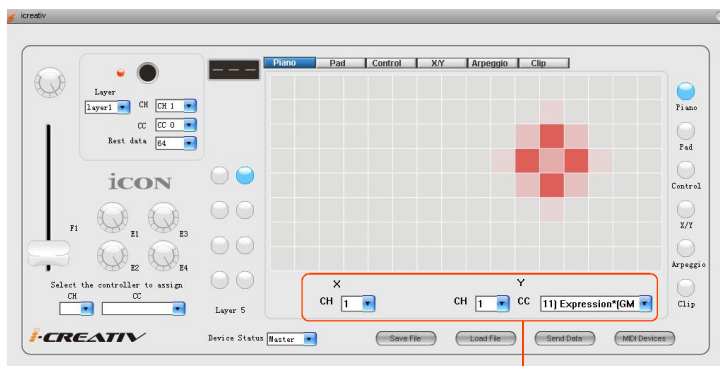
⑩ 「ファームウェア・アップグレード」ボタン

このボタンをクリックすると、iCreativのファームウェア・アップグレード・ウィンドウに進みます。ファームウェア・アップグレードの手順については、13ページをご覧ください。

⑪ モード・セレクトター・ボタン

該当するボタンを押して、お好みの設定モードを選択してください。

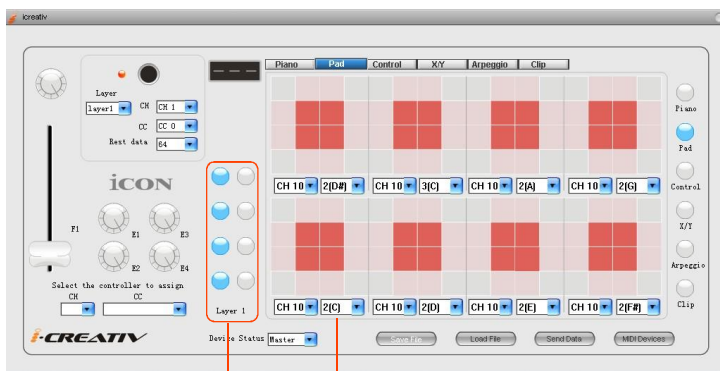
ピアノ・モード



① XYにMIDIチャンネルとCC番号を割り当てる

X/Yのプルダウン・メニューで、希望のMIDIチャンネルとCC番号を選択します。

パッド・モード



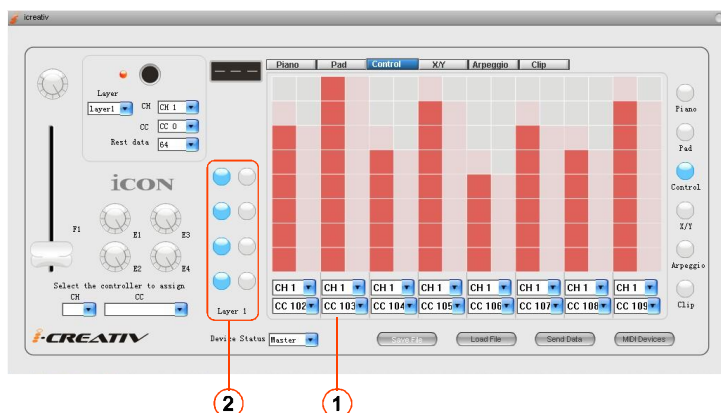
① 各パッドにMIDIチャンネルと音階の値を割り当てる

各パッドのプルダウン・メニューで、希望のMIDIチャンネルと音階の値を選択します。

② 2つの各レイヤーを選択して各レイヤーに好みの設定を選択する

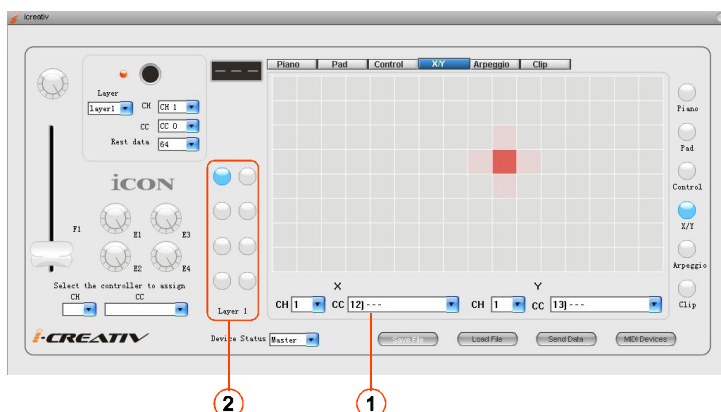
2つのレイヤーを設定して異なるアプリケーションで用いることができます。各レイヤーでは、個別のコントローラー設定が可能です。

コントロール・モード



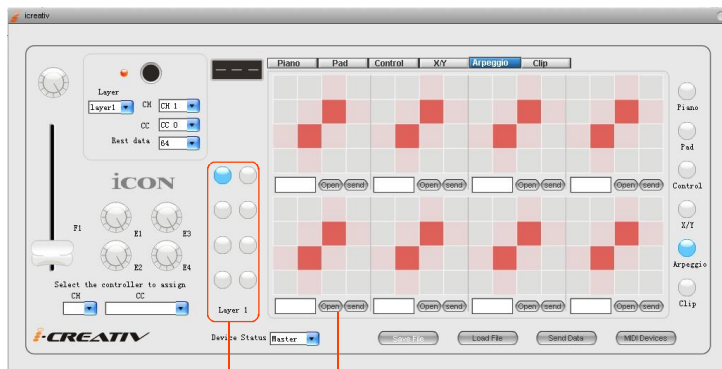
- ① スライダーにMIDIチャンネルとCC番号を割り当てる
各スライダーのプルダウン・メニューで、希望のMIDIチャンネルとCC番号を選択します。
- ② 2つの各レイヤーを選択して各レイヤーに好みの設定を選択する
2つのレイヤーを設定して異なるアプリケーションで用いることができます。
各レイヤーでは、個別のコントローラー設定が可能です。

X/Yパッド・モード



- ① X/YパッドのX軸とY軸にMIDIチャンネルとCC番号を割り当てる
X軸とY軸の希望のMIDIチャンネルとCC番号とリセット値を選択します。
- ② 8つの各レイヤーを選択して各レイヤーに好みの設定を選択する
8つのレイヤーを設定して異なるアプリケーションで用いることができます。
各レイヤーでは、個別のコントローラー設定が可能です。

アルペジオ・モード



① 各メモリー・スロットにMIDIファイルをインポートする

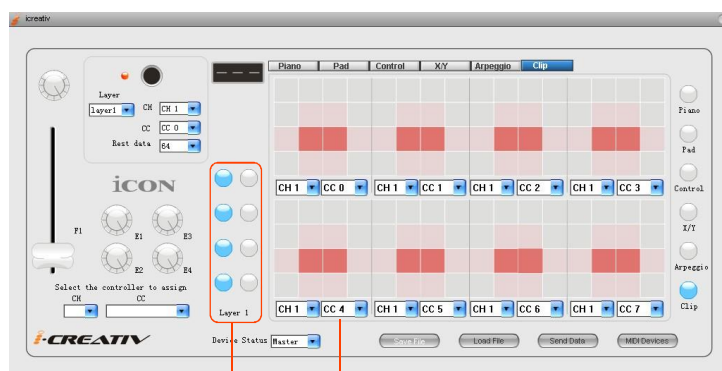
「Open」ボタンをクリックして希望のファイルを検索し、MIDIファイルの「send」ボタンをクリックし、対応するiCreativメモリー・スロットにファイルを転送します。

注意：各MIDIファイルのサイズは256バイトを超えてはなりません。これ以上大きなファイルはインポートできないことがあります。

② レイヤー・セクター

各レイヤーの8個のメモリー・スロットにある1から8までのレイヤーのいずれかを選択します。

クリップ・モード



① 各クリップ・パッドにMIDIチャンネルと音階の値を割り当てる

各クリップ・パッドのプルダウン・メニューで、希望のMIDIチャンネルと音階の値を選択します。

② 2つの各レイヤーを選択して各レイヤーに好みの設定を選択する

2つのレイヤーを設定して異なるアプリケーションで用いることができます。各レイヤーでは、個別のコントローラー設定が可能です。

ファームウェアのアップグレード

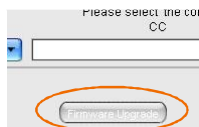


図 1



図 2

ステップ1： USBを介してICON製品を接続します。一番上にある「MIDI Device」ボタンを押し、プルダウン・メニューで「MIDI In and Out」デバイスとして、接続したICON製品を選択します。

注意： 接続したICON製品のモデル名がプルダウン・メニューに表示されない場合、MIDI In and Outデバイスとして、「USB Audio」を選択してください。

ステップ2： 「Update」ボタンをクリックします。

ステップ3： 一番上にある「MIDI Device」ボタンを押し、プルダウン・メニューで「MIDI In and Out」デバイスとして、接続したICON製品を選択します。

ステップ4： 「Open File」ボタンをクリックし、新しいファームウェア・ファイルを検索します。

ステップ5： 「Upload」ボタンをクリックし、ファームウェアをアップロードします。

警告： ファイルのアップロード中は、ファームウェアのアップロード・プロセスを中断せずに完了してください。さもないとファームウェアが再書き込みできなくなります。

ステップ6： タッチスクリーンのキャリブレーション - iCreativ上に表示された正方形の中心を、ペンでポイントしてください。最初の正方形でキャリブレーションが完了すると、2番目の正方形が自動的に現れます。最初の正方形と同じようにキャリブレーションしてください。5個の正方形がすべてキャリブレーションされるまで、このプロセスを繰り返します。

デフォルト工場設定に戻す

iCreativの設定をデフォルト工場設定に戻すには、iCreativに、iMapソフトウェアのオリジナル設定である「Factory Default」設定をインポートしてください。

iCreativまたは別のiシリーズ・コントローラーとデジタイゼーションチェーンする（複数の機器を数珠つなぎにする）

iCreativなどのiシリーズ・コントローラーと接続することができます。iシリーズ・コントローラーはUSBバスで電源が供給されるので、チェーン全体の消費電力によっては、動作が不安定になることがあります。当社ウェブサイトにはアクセスし、各種iシリーズ・コントローラーの推奨接続順序を確認してください。

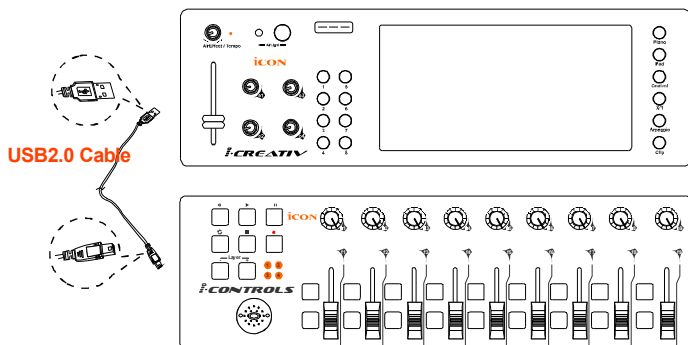
① USBポートを介して、Mac/PCに最初のiシリーズ・コントローラーの最初のユニットを接続する

Mac/PCでUSBポートを選択し、USBケーブルの幅広（平ら）な端を差し込み、iシリーズ・コントローラーにもう一端（BタイプUSBジャック）を差し込んでください。

② 次のiシリーズ・コントローラーを接続する

最初のiシリーズ・コントローラーの2番目のUSBポートにUSBケーブルの幅広（平ら）な端を差し込み、2番目のiシリーズ・コントローラーのUSBポートにもう一端（BタイプUSBジャック）を差し込んでください。

注意：USBポートの電源供給能力に制限があるので、接続デバイス・チェーンの消費電力がUSBポートの電源供給能力を上回って不具合が起きることがあります。異なるiシリーズ・コントローラーのデジタイゼーションチェーンの組合せや順序の推奨例については、以下のICONウェブサイト・リンクをご覧ください。www.icon-global.com



製品仕様

接続端子：コンピューター出力：USBコネクタ（ミニB）

i-シリーズ・コントローラー出力：USBコネクタ（標準）

電源供給：USBバスパワー電源

消費電力：最大100mA

重量： 0.84kg (1.8lb)

寸法： 325(L) X 99(W) X 20(H) mm

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。

アメリカ事務所

ICON Digital Corporation
8001 Terrace Ave., Suite 201
Middleton, WI, 53562
USA

アジア事務所

ICON (Asia) Corp.
Unit 807-810, 8/F., Sunley Centre,
No. 9 Wing Yin Street, Kwai Chung, NT.,
Hong Kong.

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.icon-global.com) をご覧ください。



iCON[®]

www.icon-global.com

info@icon-global.com

